

令和元年記念号



【国民の安寧を祈って】

平成から令和の御代へ。先帝陛下の御譲位により御大礼、皇位継承の諸儀式がはじまり、新帝陛下に寄り添って国民も新たな時代を歩みはじめました。

全国各地では奉祝行事が催され、青森市の廣田神社でも踐祚（せんそ）改元奉告祭、奉納記念講演、限定御朱印、菊和菓子の振舞いなどで、境内が希望と喜びに満ちた人々で溢れていました。

和らぐ合い時代となることを願い、皇室の弥栄と国の隆昌、世界の共存共栄、国民の安寧をお祈りお祝い申し上げます。

※踐祚（せんそ）とは皇位を踐む（ふむ）という意味で天皇が皇位につかれることを指します。



青森市・廣田神社（令和元年5月1日）

【撮影提供】廣田神社

発行：青森地区保護司会
編集：広報部
青森市長島1丁目3-28
更生保護施設プラザあすなる
青森地区更生保護サポートセンター内
TEL 017-763-0763

登山で得られる『感』



青森保護観察所
所長
本平 利幸

登山口から見上げる頂は果てしなく遠く、山頂からの景色に思いを馳せ、刻々と変化する山の天気とも相談しながら登山が始まります。左右の足を交互に出して、傾斜を上げるだけの登山ですが、雨降りだと石や枯れ葉で滑ったり、高低差のある場所では過度に体力を消費し、霧が立ち込めると登山道を見失うこともあり、様々な状況判断も必要となります。

登山では、会った人とは挨拶を交わし、時には休憩中に初対面同士で会話を楽しむことがありますが、疲れた時には、その挨拶や会話がスパイスとなり、次の一歩に繋がります。

また、「山登りの心得」は色々ありますが、その中でも大事なのが水の確保だと思います。登山は重量を減らし、体力

の消耗を抑えることも求められますが、水に関しては軽視してはいけません。登山道に沢があれば、雪融け水を飲むことも可能ですが、命に関わる大事な水は各自で準備しましょう。山の上では、1万円札もただの紙切れにしか過ぎません。

そんなこんなで登頂するわけですが、苦勞したご褒美として、山頂から見えるパノラマの景色からは、日常では中々得られない色々な感情を得ることが出来ます。例えば、（登頂した）達成感・優越感・充実感・快感・（自然との）一体感・開放感・仲間との）信頼感（精神的な）安定感・安堵感、等々皆さんも登山で『感』を体験してみてくださいか？

そして下山。一見、楽に見える下山ですが、滑って転倒する危険性は高く、日常と比較すると数倍の重量が足腰に掛かり、怪我の原因にもなります。

また、登山の疲れから、体力だけではなく、気付かないうちに思考も低下しており、判断を誤ることもあります。悲壯感にならないように…

2019年度 **地区定時総会開催** 開催日 5月16日(木) 会場 アップルパレス青森

- 重点目標**
- ◎保護司候補者の安定的確保のため、保護司候補者検討協議会の全分会への設置
 - ◎地域別定例研修会の受講者増員を図る
 - ◎更生保護サポートセンターの利用者向上を図る。

更生保護制度施行70周年

社会を明るくする運動〔中学校との連携〕
7月11日(木)「浪打中学校」

2019年度地区定時総会は、第1期地域別定例研修会の後に開催（総数116名、出席63名・委任状32名・欠席18名）され、来賓の青森保護観察所本平所長・函館地区保護司会会長（代理）菅野事務局長の挨拶後、30年度事業報告、収支決算を承認、続いて2019年度事業計画案、収支予算案について審議、満場一致で原案通り承認、地区新役員は、副会長に中川氏（3分会分会長）、監事に長尾氏（2分会分会長）、また事業部局の広報部長に佐々木氏、渉外部会長に市川氏、地域活動部長に阿部氏がそれぞれ承認されました。（下記



右から地区保護司会天内会長、青森保護観察所本平所長、函館地区保護司会会長（代理）菅野事務局長、後列は保護観察官



地区副会長と事務局

地区役員名簿参照）また、懇親会では61名の参加があり、小野寺青森市長、山崎外ヶ浜町長、中嶋今別町長他の来賓を迎え開催されました。任期満了退任保護司の佐藤武治氏（1分会）に、青森県保護司会連合会から退任功労保護司章等が贈呈されました。



懇親会で挨拶する
小野寺青森市長

〔全国大会10月7日〕
〔東北大会11月26日〕
〔青森県大会11月29日〕

2019年度 青森地区役員名簿

副会長	天内修	（第1分会）
会長	石田次郎	（第1分会）
副会長	塩原誓子	（第2分会）
副会長	鳴海峰泰	（第4分会）
副会長	鎌田喜代志	（第5分会）
常務理事	樋口修三	（第3分会）
常務理事	佐藤俊政	（第4分会）
事務局長	山田啓子	（第3分会）
庶務	塩原誓子	（第2分会）
地区監事	野澤絹枝	（第2分会）
地区監事	棟方公男	（第3分会）
地区監事	酢谷奈保子	（第1分会）
地区監事	石田康男	（第1分会）
地区監事	櫻田文信	（第3分会）
地区監事	後日	（第4分会）
地区監事	工藤照造	（第5分会）
広報部会長	新佐々木雅久	（第5分会）
研修部会長	塩原誓子	（第2分会）
渉外部会長	新市川和行	（第4分会）
地域活動部会長	新阿部哲	（第5分会）

今年も宜しくお願い致します。

2019年度 地域別定例研修

開催日 5月16日(木)
会場 アップルパレス青森

性犯罪、薬物再乱用防止、飲酒運転防止などの 専門的処遇プログラムの内容が充実強化されている

2019年度第1期地域別定例研修会は、5月16日アップルパレス青森で開催され、地区保護司116名のうち61名が参加しました。講師は、青森保護観察所・佐藤文彦保護観察官で「青森県の更生保護の現況について」研修しました。

保護司が裁判で証人となること、警察署から照会の回答も適切ではないので依頼された時は断るよう



講師の佐藤文彦保護観察官

保護観察対象者が再犯で検挙された際に、弁護人などから担当保護司が情状証人として、保護観察中の生活状況などについて、裁判で証言するように依頼される事例が見られています。保護司が裁判で証人となることは適切ではないので、そのような依頼があった際には、お



2019年度 保護司研修計画

名称	対象	目的	実施期間	実施場所
新任研修	2019年度委嘱保護司(全員)	新任保護司辞令伝達・新任保護司の使命・役割等基礎的知識の習得	9月29日及び9月30日及び9月31日	保護観察所
処遇基礎力強化研修	委嘱後概ね2年未満	職務遂行上の事務手続き及び処遇の実務※事件担当経験の有無等を考慮して、保護観察所の長が適当と認めた者	10月9日(水)	青森市
指導力強化研修	委嘱後概ね2年以上4年未満	処遇上の知識・技術の習得※処遇経験等を考慮して、保護観察所の長が適当と認めた者	10月23日(水)	青森市
地域別定例研修	全保護司	実務上の知識・技術の向上	概ね下記期間	各地区
第1回		「青森県の更生保護の現状」について	4月～7月	
第2回		「生活環境調整報告書の書きかた」について	8月～11月	
第3回		「飲酒・ギャンブルの問題を抱えた対象者の処遇」について	12月～	

名称	対象	目的	実施期間	実施場所
特別研修	保護司会事務担当者研修		6月20日(木)	青森市
	保護司 SST 研修		10月25日(金)	青森市
	県央地域会議ブロック別特別研修		10月(予)	野辺地地区
	保護司・更女・BBS三者連携研修		R2年2月中旬(予)	青森市
	更生保護関係団体連絡協議会		R2年3月中旬(予)	青森市

保護観察対象者の個人情報取り扱い

保護観察事件、生活環境調整事件等、個人情報にかかわる関係書類については、担当終了後は必ず主任官または保護観察所に返還してください。

また、対象者にかかる個人名等の情報が記載されたメモやノート等の取扱いについても外部に漏洩しないようご注意ください。

断り頂くよう、また警察署から保護観察中の生活状況について照会があった場合も保護司からは回答せず、保護観察所に問い

合わせるよう説明願います。対応に迷われた場合には、保護観察所に相談してください。

新任保護司紹介「保護司の委嘱を受けて」

平成31年
3月1日付



平内町 第1分会
細川 信利

皆様はじめまして！
本年3月より保護司として活動することとなりました。細川と申します。

私は、地方公務員として何事もなく、無事に定年を迎え、現在嘱託として教育委員会の中の給食センターに勤務しております。

保護司になるきっかけは、公務員時代の先輩からの要請で、断ることのできない先輩なので、とりあえず推薦したので宜しくお願ひしたいとの事で、多分何人も推薦されるので、自分も推薦されるのではないかと、安易な考えでいたところ、私一人だけの推薦だったそう、びっくりしました。

先日、保護司の研修会に参加して大変な業務であることがわかり、自分としては、大変身が引き締まる思いで受講いたしました。

また、自分としては、業務内容がよくわかりませんが、今後は先輩の保護司の指導等をおおきながら自分なりに勉強しながら無理せず、頑張っていきたいと思っておりますので、今後とも宜しくご指導等お願い致します。



青森市浜田 第2分会
佐々木 聡

保護司のお誘いを一年程前から頂きましたが、私にはその重責を全うする自信がない上に、資格要件に「時間的余裕を有する事」と明記されていた為、大変失礼乍らお断りをさせて頂きました。しかしその後、先輩保護司さんから高齢化・充足率減少が進み、犯罪・非行の予防活動を推進する上で、世代交代や若手人材育成が急務との深刻な事情も伺いました。この4月からは、働き方改革法が施行され企業環境は更に厳しさを増し、時間的余裕は困難を極める状況となりますが、一方で地域社会においても企業経営においても危機管理の重要性が益々高まっております。保護司を通じて学ぶべき事が必ずやある、と自分に言い聞かせ熟慮葛藤の末、お引き受け致しました。

諸先輩皆様方の御指導を賜り乍ら研鑽を重ね、人格識見の向上に努めて参る所存ですので、何卒宜しくお願い申し上げます。



青森市沖館 第4分会
平塚 勝

私が保護司のお誘いを頂いたのは別の会合でのことでした。「平塚さん、保護司にならないか」その時は、保護司というものを知らず、何でしょう。それは？というのが感想でした。

「私でつとまるでしょうか……？」知っているが故の不安ではなく、未知のものへの不安で答えましたが「大丈夫じゃない、あなたなら」「そうですかね……」

その後、必要書類を揃えて提出したところ、研修への案内が届きます。内心は「合格したらいい……」でありました。

考えを改めたのは、研修を受けてから。保護司の活動内容を知ったからになります。機会を頂いた。全力で取りくもうと。

家族にも相談しました。保護司を務める機会を頂いた。せっかくの機会なので、全力でとり組むことにします。協力を頼みたいと。

快く、理解と協力を頂けることになったのが、何よりと感じております。宜しく御願ひ申し上げます。



青森市浪岡 第5分会
猪股 幸子

今年3月1日付で、第5分会に委嘱を受けました。浪岡在住の猪股です。

保護司という、役目、役割も知らないまま、小学時代の同窓生から「保護司をやってみませんか」のお誘いを受け、半年間悩んで、悩んでお受けすることにしました。

新任保護司の2日間の研修に参加し保護司の使命とその職務について学び、改めて保護司という役目、役割を知る事ができました。知ることにより、私に果たして出来るのか？と、問う心も生まれました。しかし、経験のある諸先輩方が沢山いらっしゃるのです。アドバイス、ご指導を頂き頑張っていきたいと、引き受けを決意しフアイトを燃やしております。毎日のように犯罪、非行に関する報道が目や耳に入ってきます。青少年の社会問題も見過ごす事はできないと思っております。少しでも保護司としての活動を通じ、更生したいと願う方々の力となり（微力ではありますが）与えられた任務を遂行して行きたいと思っております。宜しく御願ひ致します。



青森市高田 第2分会
大坂 昂

平成31年3月1日付で保護司の委嘱を受けました。大坂昂を申します。職業は、更生保護施設プラザあすなの補導員をさせて頂いておられます。まさか自分が保護司になるとは思ってもいませんでしたが、これもなにかの縁だと感じております。

日々の業務では、自分に足りないものを発見できたり、諸先輩方からいろいろと学ぶことができ、少しずつでも成長できていると感じています。また、対象者には、過去でもなく未来でもなく、「今」を全力で生きて欲しいと願っています。心から更生できるように、サポートしていきたいと思っております。

保護司は2年毎の再任があります。交通違反等の確認がありますので、いつでも交通マナーを守りましょう。

新任保護司紹介「保護司の委嘱を受けて」

平成30年
9月1日付



外崎 玄

青森市花園 第1分会

このたび、田邊先輩の推挙により保護司にさせていただきます。

私はこれまで、湾岸戦争クルド難民救済、ピナツボ火山噴火により被災されたアエタ民族支援、阪神淡路大震災で被災した神戸にてのねぶた運行、等の活動をしてきました、これらの経験を活かして、保護司として刑に服した方々をサポートしていきたいと思っております。

青森ねぶた祭りにかかわる者として、熊本の人々が元気になってほしいという思いで2016年熊本地震が発生した年より、熊本城の丸広場にて青森ねぶたの運行を行っております。会場には2日間で5万人の被災された方々がねぶたを見に来ていただき、「青森ありがとう」と声援を頂き、生まれ育った青森の一面を見た思いがしました。

青森に生まれ育った私は、たくさんの方々にお世話になりました。今後は保護司として青森に恩返しをしたいと考えています。

年は重ねていますが先輩のご指導を仰ぎながら職務を全うしていく所存でございますので、よろしくお願ひ申し上げます。 押忍

東北学院大学
少林寺拳法部OB



中田 靖人

青森市原別 第1分会

何年もお誘いを断つてきました。「なんとか保護司を引き受けてもらえないか。」と会う度にKさんから誘われていました。

青森市議会議員という立場の他に原別町会長、原別稲荷神社総代長、社会福祉協議会理事、市P連副会長など、要職を次々と任せられ、体が一つしかなない事を恨めしく感じる程の忙しさに苛まれていた時でしたので、重にお断りをせざるを得ない状況でした。

しかし、数年に渡る説得工作は功を奏し結果的に引き受ける事になってしまいました。正直申し上げますと当初は憂鬱でした。

何故ならば、押し付けられたという感情を消せない事と、職務の重要さを知っていたからです。興味本位で引き受ける職務ではありません。初回の講習は参加するまで気が重かったのですが、内容が熟知するにつけ、「誰かがやらなければいけない大事な職務だな」という感情の方が強くなりました。私はまだ担当した事がありませんので、なんとも言えませんが、いついかなる時でも対応しなくてはならないと改めて決意している所です。

講義 保護観察における不良措置について

講演 健康さがしの旅

〜すい臓がんステージIVを体験して学んだこと〜

平成30年度 県央ブロック保護司研修会

担当地区
青森地区保護司会

保護司会の県央ブロック（青森地区保護司会・野辺地区地区保護司会・むつ下北地区保護司会）の研修会が、平成30年10月5日アピオ

あおもりにて開催、第一部は、青森保護観察所の杉野森統括保護観察官（現企画調整課長）による「保護観察における不良措置について」の講義で、普段保護司が担当しない事例を参考に進められました。



また第二部では、「すい臓がんステージIVを体験して学んだこと」の著者である協同組合タツケン代表理事の川嶋勝美氏（青森地区保護司）の講演「健康さがしの旅」が行なわれ、「暴飲・暴食・働きすぎ」と過度のストレスで、がんは発病したのではないかと。そして、がん治療の処方箋は、現代医療（手術・抗がん剤でがん細胞をやっつける）と自然治癒力（食事・運動・感情コントロール・東洋医学で、免疫力を高め、自分の身体の力を引

講師の杉野森青森保護観察所統括保護観察官（現企画調整課長）→

↓講師の川嶋氏（青森地区保護司）



結びの挨拶で、むつ下北地区保護司会の中村会長は、「身内ががんを患っている人がいるので他人事ではない気持ちで聞き入った。誰でも健康がとも大。」と話していました。

令和元年度 **予告** **地区保護司関係の主な行事**
 詳細は後日、地区事務局からのご案内となります

“社会を明るくする運動”
青森刑務所
「矯正展」

開催日 7月21日(日)
 開催時間 9:00~15:00
 会場 青森刑務所



保護司の皆様も自由にご参加ください。

「社会を明るくする運動」の一環として、全国47都道府県の受刑者が製作した家具や洋裁などの刑務作業製品(約580品目、約6,500品)を展示・即売。14の飲食店が並ぶ他、お楽しみイベントが予定されている。

第69回 “社会を明るくする運動”
 第39回 令和元年度
青森地区更生保護女性会
「みんなのつどい」

開催日 7月22日(月)
 開催時間 11:00~15:00
 会場 リンクステーションホール青森
 (青森市文化会館)



更生保護制度施行70周年記念
全国大会 (県内保護司47名)



開催日 10月7日(月)
 開催時間 13:00~15:30
 会場 東京国際フォーラム

第30回東北地方
更生保護大会

開催日 11月26日(火)
 開催時間 10:00~15:00
 会場 仙台国際センター



一泊二日の研修旅行を計画中

第41回 令和元年度
青森県更生保護大会
「平川市」で開催

開催日 11月29日(金)
 開催時間 未定
 会場 平川市文化センター



担当保護司会・河南地区
 (平川市・大鱈町)

県央ブロック保護司研修会「野辺地地区」
 開催日時・会場 未定



本年の広報啓発物資のキャッチコピーは、「RE:スタート」(リスタート)です。英語で「再起動・再開」を意味し、より若年層に訴求しやすいようREをアルファベット、スタートをカタカナで表現し、デザイン化しています。

「過去のあやまち」から再出発し、未来に向かって挑戦できる、「つまずいても立ち上がる」社会を目指す願いが込められています。

爽やかな青色をメインカラーに、ホゴちゃんが描かれた疾走感のあるデザインとなっています。

ポスターの構成は、非行ペンギンであった頃のホゴちゃんが、幸福の黄色い羽根と「生きるマーク」を手にして更生ペンギンとなり、未来に向けて飛び立つまでを描いています。



黄色い羽根のバッジを積極的に着用しましょう

黄色い羽根は、更生保護の証です。7月の社会を明るくする運動強調月間では、安倍総理、法務大臣他、更生保護議員連盟の国会議員もこのバッジを着用しています。保護司も毎日着用しましょう。

事務局ニュース

保存版

令和元年度青森地区保護司会月別主要行事予定

は全保護司対象の行事

※空白の日付けは、現在は未定となっています。

自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日 ※印は保護観察所及び各団体事業

Table with columns for month/day, main events, and other organizations. Includes dates and event names like '分会定時総会', '第1回地域別定例研修', etc.

日頃の投稿、様々なご協力ありがとうございました。胎児について、北欧の国アイスランドでは出生前診断でダウン症と診断されれば100%墮胎。米国民民主党オースム、トランの両名は後期人工妊娠中絶を支持(出産直前まで妊娠中絶可)、これに対してトランプ大統領が「赤ちゃんを子宮から剥ぎ取る行為」だと批判、命の尊さを訴える。イスラエル過激派による自爆テロ、殺人、同性愛、従来法律の正義という概念が大きく変化しつつある。更生に関わる我々も凛としたものを持たなければならぬと思う今日この頃です。



広報部 小林 政英



ひびくと